

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	株式会社タック ささの家					公表日	令和8年 2月 18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	利用者が多い時は、空きスペースや高齢者のスペースと共有で利用している	今後も臨機応変に環境を整えていく		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	児童の特性に応じて配置を考えている	今後も継続して臨機応変に対応をしていく		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	イラストや写真等を利用して利用者にわかりやすい環境を整えている	今後も児童の特性に応じて環境を整えていく		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日終了後、清掃やアルコール消毒を行い清潔にしている	今後も心地良く過ごせる環境を整えていく		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	児童の特性に応じて気持ちの切替えができるよう場の確保をしている	今後も場の確保ができるよう環境を整えていく		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	翌日の支援が始まるまでに、職員間で前日の支援を振り返り情報の共有をしている	情報の共有はできているが自分の支援を振り返り評価反省を行う場や時間の確保が難しいので今後の課題とする		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者からの聞き取りで得た情報は、引き次の時間に共有をしている	今後も、共有をしどう取り組んでいくかについての話し合いを続けていく		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	高齢者職員との引継ぎの時間も設けいろいろな情報の共有をしている	今後も業務改善に繋げていけるようにしていく		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	高齢者のデイサービスと共に10月と3月に運営推進委員会を開き外部評価をして頂いている	今後も評価結果を業務改善に繋げていけるよう努力をする		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	外部研修に参加後は、職員に報告をし情報の共有をしている	今後もできるだけ研修会に参加し職員の資質向上に努めていく		
適切な支援の提...	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	公表を行っている	今後も職員間で支援プログラムについて意見を出し合い共有していく		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	利用開始前や計画の見直し時にアセスメントを行い職員間でニーズや課題を共有している	今後も職員間で児童の課題を検討し、支援計画に反映していく		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	計画を作成する際には、職員会で意見を出し合い共通理解をし支援行かすようにしている	今後も全職員で児童の支援を行っていく		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	全職員で支援計画を共有し計画に沿った支援を行っている	今後も職員間で計画について共有をし支援を行っていく		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	日々児童の行動を把握し職員間で共有し支援をしている	今後も情報を共有し一人一人に合った支援をしていく		
適切な支援の提...	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	ガイドラインの見直しを行いながら、児童の特性に応じた計画の作成をしている	今後もガイドラインの見直しを行い、全職員で計画の作成を行っていく		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	全職員で行っている	今後も四季の行事などを取り入れながらプログラムの立案を行っていく		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	いろいろな情報を取り入れながら行っている	アンテナを高くしいいろいろな情報を取り入れながら行っていく		

供 19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	児童の特性を考えながら集団に入っているような計画を作成し支援を行っている	今後も一人一人の特性を理解し、集団に入っているような支援をしていく
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	支援開始前に職員間での打ち合わせを行っている	今後も役割分担についての確認を行い一人一人が責任を持って支援していく
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	終了後には行う事ができない為、翌日に振り返りを行っている	一人一人の振り返りの時間が十分ではない為、時間を有効に使っていくよう努力していく
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	日々の支援に関して個人記録をとっている	個人記録を支援の検証・改善に繋げられるようにしていく
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	計画の見直し時に保護者からモニタリングを行い計画の作成を行っている	保護者のミニタリングにより計画の見直しや継続について職員間で共有し計画を作成している
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	0	自立支援、生活能力の向上、創作表現、地域交流の活動ができる限り取り入れるようにしている	今後もバランスよい活動を取り入れていく
	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	活動の中で個に応じた自己決定ができるような支援をしている	今後も自己決定ができるような支援を行っていく
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	担当者会議に要請があれば情報を理解した職員が参画し、事業所内で情報の共有をしている	今後も積極的に参画をし情報の共有を図る
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	関係機関と情報の級友ができるような体制をとっている	今後も関係機関と連携を行っていく
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。			送迎時等を利用し、情報の共有をしている	今後もより良い支援を行うために情報の共有をしていく
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			できる限り行っている	今後も理解を深めるために行っていく
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			できる限り行っている	今後も理解を深めるために行っていく
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。			できる限り行っている	今後も理解を深めるために行っていく
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	4	他の子どもと活動する場は設けていない	今後機会があれば設けていきたい
	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	協議会への参加をし情報の共有をしている	今後も積極的に参加をしていく
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎時や連絡帳を通して共通理解をしている	今後も情報の共有をしていく
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4	家族の支援は行えていない	今後検討をしていく
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に行っている	今後も丁寧な説明を行っていく
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	計画作成時保護者の意思を尊重し、家族の意向を確認する機会を設けている	今後も家族の意向を尊重し、子どもたちの意向も尊重していく
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	支援計画を示しながら説明を行っている	今後も丁寧に説明をし同意を得ていく
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	モニタリング時家族の相談に応じている	今後も話しやすい雰囲気を作り面談に応じる

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4	仕事を持つ時間にゆとりのない保護者もおられるため積極的に交流の場を設けていない	今後機会があれば交流の場を設ける
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情について即対応ができるように連携を密に行っている	今後も連絡帳や電話を通して即対応ができるようにしていく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	ホームページの更新や通信の発送を月1回のペースで行っている	今後も続けてしていく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	職員採用時に個人情報の取り扱いについて指導をしている	今後も個人情報の取り扱いについて機会あるごとに伝えていく
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	児童の発達特性を理解し、送迎時や連絡帳を通して細かく連絡をしている	今後も話しやすい環境を整え情報伝達をしていく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	地域の方が参加できるような計画を取り入れるようにしている	今後も地域に開かれた運営をしていく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	契約時に家族に周知している	家族に訓練について通信等を通じ発信していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	年2回避難訓練を実施している	今後も訓練を行い災害に備えていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	契約時に保護者から確認をし職員間で情報の共有をしている	定期的に保護者から情報を確認し職員間で情報の確認を行い支援していく
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	契約時に食物アレルギーについてアセスメントを行い職員で情報の共有をしている	今後も食物アレルギーのあるお子様について情報を共有し対応をしていく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	高齢者職員と共に安全管理を十分に行った上で支援をしている	今後も情報の共有をし安全確保を行った上で支援をしていく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	契約時に周知をしている	今後も家族と連絡を密にしていく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハットについて高齢者職員と共に、大きな事故につながらないように情報を共有している	今後も大きな事故につながらないように、小さな気づきを共有していく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待防止委員会を高齢者職員と合同で行い共通理解している	今後も適切な対応ができるように一人一人の職員が責任を持って支援していく
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	身体拘束委員会を高齢者職員合同で行い共通理解をしている	保護者との話し合いをしっかりと行った上で相互理解をし計画に記載していく